

壮年会だより

< 2月15日(日) 11名出席 >

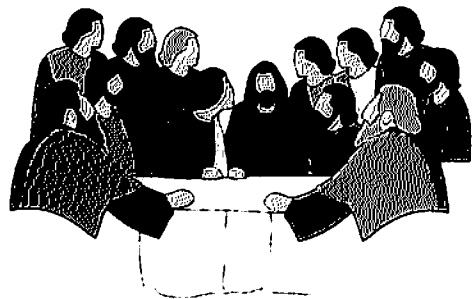
1. 財務報告(1月分決算報告)
教区会計監査(1月25日)
2. 中和田教会献堂25周年記念(2月24日)
*名簿作成中和田教会所属者のみ
*パーティー復活祭と合わせ行う
3. 自衛消防隊
教会委員交代に伴い3名を新たに任命
4. 第一回葬祭委員会への要望事項について討議
5. 掃除
*椅子を後ろに下げて行う
*用具の片付け婦人会は各日曜日ごとに地区指定
6. 環境委員会七浦さん
信仰と環境問題

婦人会だより

<2月15日(日) 36名出席 >

- ① 教会委員会報告
- ② 遠足について
・5月中旬ごろの予定
・候補地等は3月例会までに決める
・費用1人5000円位(昼食は別)
- ③ バザーについて
・奉仕日第3木曜日 10:00~3:00
(3月19日から実施)
・自主製作品も協力して下さい。
- ④ 「広報なかわだ」4月、6月、8月、11月が原稿提出月です。寄稿をよろしくお願い致します。
(〆切は前月の第四日曜日朝まで)
- ⑤ 御復活祭(4月12日)について
4月11日(土)大掃除と卵ゆでを10:00からお手伝いをお願いします。
- ⑥ 一粒会について
増額の提案については前年度と同額とする事になりました。
- ⑦ その他のお知らせがありましたので、掲示板を御覧下さい。

次回例会は3月15日(日)、次回当番はD地区です。



お知らせ

聖週間及び御復活の主日御ミサ

4月9日~11日(聖木曜日、聖金曜日、聖土曜日)の御ミサは夜8時からです。また4月11日(土)am10:00から大掃除を実施しますので、ご協力下さい。
4月12日御復活の主日御ミサは、am10時からです。御ミサ後、中和田教会献堂25周年祝いを兼ねて、パーティーを開きます。

赦しの秘跡

3月22日(日) 鶴飼神父様の御指導で赦しの秘跡が行われます。

住所変更

福島 清、久子 (12月転居)
〒242-0014 大和市上和田2412
上和田団地3-2-102
Tel. (0462)68-9590



編集後記

最近、近所の小学校の広報にこんなのが出ていたよと家内に言われ、聞かされたのがこんな文章でした。

アメリカインディアンの言い伝え
批判ばかり受けて育った子は、
非難ばかりします。
敵意に満ちた中で育った子は、
誰とでも戦います。
心が寛大な人の中で育った子は、
我慢強くなります。
励ましを受けて育った子は、
自信を持ちます。
人に認められる中で育った子は、
自分を大切にします。

なるほどと思うと共に、振り返って我が子を見ると、まさに名言なりと冷や汗が出てきます。

ところで、今中学生の問題が色々取りざたされていますが、三才までの教育が性格形成に大きな影響があると言う心理学者も多く、心と心のふれあいの重要性を今更のように感じます。13年前にこのようなことを知っていたら良かったのに等と今更ながら反省させられます。

中和田教会の青少年コーナーも今難しい状況になっていますが、青少年問題も含め、大人たちがもっともっと青少年諸君の理解を深めていくためにも、日頃感じることを気軽に投稿してもらえたらと思います。御両親におかれましても、御指導御協力のほどお願い致します。



(〆)

今月の予定

委員会 3月 8日
四旬節第1主日 3月 1日
赦しの秘跡 3月 22日
サロン 3月 8, 22日
レジオ 3月 13, 20, 27日



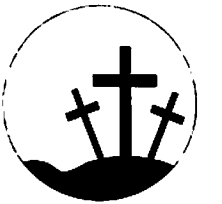
第234回

カトリック中和田教会
広報委員会発行
泉区中田北1丁目9-1
Tel. (045) 803-6141
1998年3月1日



思いワズラウの事 ④

山崎 正俊



これは、十二月二十五日クリスマスの夜の事。死を間近にしていると思われる老父の家族からたのまれて、病者の塗油のために、病院に行った。ミサは、二十四日なら午後の八時。二十五日なら、前夜に来られなかった人たちのために午前十時。その日の夕方は時間的には、自由になるはず。それで、呼ばれると、それにお応えするのは、当然のことです。御家族も、一緒の安心と平穏。

病者の塗油をすませた後、病室の前の廊下に待っておられた方たちに、お父さんは、犯した罪のせめてもの償いとして、ロザリオの祈りをつづけながら、時間がいくらあってもたらぬと、忙しそうでしたよと、其処にある椅子に腰掛けながら、肩をよせあっていました。すると、とつぜん、「ローソクの光」で明るく照らし出されて、そろいの白衣の人たちの、振り鳴らすベルのリズムと喜びの賛美歌の騒がしさが襲いかかって、これは場違いな出来事です。やめてくださるようにと、立ちほだかる。半泣きの顔をした私をまえにして、声もなく、ローマンカラーに黒づくめの背広姿を見上げ見下ろし、すぐにはなっとくしていただけない。「お目出度」の押しづけごと。お互いさまの、角突き合い。

偉大な志に生きておられる医師に会う。この方は、人の生死に直接かかわらない歯科医だから、一段と低く見られている。目立たないところにこそ、生命の大切な支点が存在していることもあるのを、先輩たちは気付いていても、それを主張する勇気を持ちあわせていなかったのでしょうか、嘆いてみせられるとは、なんとヒカエメな人であろう。こういった人(を)、世間にのさばっている考えに従っている人たちは、自己保身のためか、認めることができないのだろうと、私には見える。一般には、「医」は「体」だけのことと思いたくない、「心」も同時に、その対象であることが忘れられているらしい。

——北九州の大学の医学部で、「心療内科」がとなえられて、数十年。中央のほうでも、それを真似る教授がふえているのに、どうしたことか、この頃まで、あまりにも注意をひかれなかったとは、その想像力の貧弱さにはアキレルというだけでよいのか。あるいはまた、「歯科」と、はじめに書くことをしなければ、それと認められないらしいこと、「産婦人科」の看板に、「女医」によることを明記する重要性があるらしいことなど、差別なのか、他の理由があるのか、どうなのか。

——「歯」も体の一部であり、歯がその責任を果たせるようにととのえられているとき、それが、まっとうな人として生きさせていることになる。歯の保全も、「人の生命」に重要なものであるのに、歯を植打ちの軽い小さな部品としてあつかわれているのはなぜか。功利的な思いがちに災いされて、正当な評価がなされていないとは、恥ずかしいことの至り。「医」や「宗教」なども含めて、あらゆる「生業」には、どれにもそれとしての優劣上下可否尊卑などの差は無いはず。

——ムシ歯さん。有り難う。そまつにしていたとは、どうもすみませぬ。

(1997.12.23)



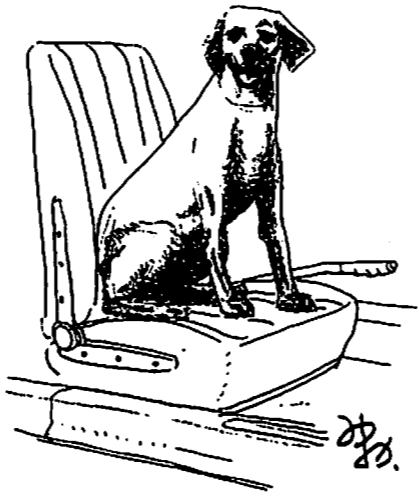
2月の出来事

石井 三雄

今年の2月は長野で冬季オリンピックが開催され、この間世界中が注目し続けました。また日本選手の活躍で国内のボルテージも次第に上がりホットな2月になったと思います。

ところで2月が何故28日と短くなっているのかご存知ですか。太陽暦の基準となっていたローマ暦で、2月は元来29日だったのですが、シーザーのあとを継いだ皇帝アウグストスは7月にシーザーの名前が付けられているのに対抗して、自身の名も後世に留めたいという願望から8月を自分の名に改めさせました。と同時にこの月が30日と7月より1日短いことに不満を禁じ得ず、2月から1日を失敬して7月と同じ日数とした為にそれ以降、現在使われている世界標準の暦となったのです。なぜ2月から拝借したのか本人に確認しませんと判りませんがこの3日短いおかげでサラリーマンは得したような、経営者は損したような、はたまた締め切りを契約の条件にしている人々にはなにかと迷惑を受けているのではないかと思います。人は金銭欲、名声欲についていけば古今東西あまり変わっていませんネ！ほかに2月の出来事で思い出するのが初めてヨーロッパに出張したときパリにしばらく滞在していたときに乗ったタクシーにまつわる一件です。

四半世紀前のパリの2月は厳寒でした。舗道を行き交う人々はみな家路を急いでいるのかと想いながら、思考パターンがいつもの独善的に陥っているのに気がつき、歩きながら独り苦笑しました。「タクシーにするかな、」ここからならメトロの階段の上がり下りもせず済むしなどと自問自答しながら歩いていますと、時々利用するタクシー乗り場にちょうど一台駐車しているのが目に留まりました。「それに寒い」と呟きながらメトロの入り口を横切りタクシー乗り場にむかいました。座席に座ってドアを閉めたその刹那、「またか」と、後悔の混ざった小さな舌打ちをしました。それは助手席にレトリバを同乗させていたからでも、ラジオのボリュームがやたらに大きいからでも、運転手の対応が無愛想だからでもなく、車内の異常な臭気でした。もうすこし正確に言いますとそれは品の無い匂いの芳香剤と、使用している量の凄さです。その形容しがたい臭いが充満していました。助手席のレトリバが平気な顔？をしているのがなんとも印象的でしたが、これは持論ですが視覚と聴覚に関しては狩猟民族が勝り、味覚と嗅覚については農耕民族たる我々が優れていると思っています。(この詳細については紙数の都合で割愛させていただきますが)この車内ではドライバーより嗅覚が鋭いのは間違いありません。ホテルの名を告げ窓のガラスを半開にしたら運転手は後ろを一瞥しブルゾンの衿を両手で立て、やおら走りだしました。振り向くと街灯にぼんやりと照らし出された凍てつく車道にはタクシーの排気ガスが、風に吹かれる白い絹のスカーフのようにしばらく舞いながら、やがて暗闇の中へと消えていきました。今でも強烈な芳香剤の臭うタクシーにのりますと2月のパリの一件が思い出されます。



おっと、これを忘れたら超大変、2月で一番の出来事、それは私どもの結婚記念日がある月でした。

ミサ当番表 (98年3、4月)

月/日	主日	朗読、奉納	オルガン	月/日	主日	朗読、奉納	オルガン
3/1	四旬節第一主日	井上	岩淵	4/15	受難の主日(枝の主日)	山田	岩淵
3/8	四旬節第二主日	青年会	美底	4/12	復活の主日	青年会	美底
3/15	四旬節第三主日	婦人会D地区	石川	4/19	復活節第二主日	婦人会A地区	森田
3/22	四旬節第四主日	橋	森田	4/26	復活節第三主日	清水	大宮
3/29	四旬節第五主日	婦人会D地区	大宮				

※当番の方は10分前には集合して下さい。

※ご都合の悪い方は典礼委員までお申し出下さい。(萩原: TEL 802-6258)

ご挨拶

教会委員長 花坂 洋一
守主の平安

昨年十二月下旬、中和田教会委員会選出委員会より次期委員長(四代目)に推選され、大役を引受ける事に成りました。過去約十年間、副委員長として、委員長補佐役を務めて参りました。教会内の諸事情には詳しくてもいざ委員長となると私には『器』が大きすぎると幾度もお断りしたのですが、現実には何らかの事情で出来ない方ばかりでやむなくお受けしました。

お引受けした以上、私なりの方法で運営するしかなく、幸いに経験豊かなスタッフにかこまれて皆様の助力を受けて、第一歩を踏み出しました。

歴代委員長の引いてくれた線路を脱する事がなく、役員始め信徒の皆様方の暖かい御支援を宜しく御願ひ致します。

現在の教会委員は、二期、三期と長期化しており、余り好ましい事では無いと思ひます。

今後共、信徒の皆様、老若男女を問わず、教会運営に率先参加して、より良い中和田教会の発展にお力をお借し下さいます様、よろしく御願ひ申し上げます。

二月二十五日



人にやさしい教会を目指して

教会委員会委員

教会委員会委員が左記のようになりました。(任期二年)皆様の協力宜しく御願ひ致します。

花坂 洋一	委員長
小野 寺功	副委員長
阿部 映子	副委員長
甲斐 至信	会計
萩原 政弘	典礼委員
平瀬 晃	典礼委員
位田 裕子	典礼委員
岩淵 英介	広報委員
福島 清	行事 営繕
井上 昭男	行事
石井 悠子	要理
小野 雅彦	書記
一粒会委員	
小谷 徳爾	
小野 和江	
第五地区宣教委員	
七浦 鑑吉	
町田 保子	

委員会だより

<2月8日(日) 11名出席>

【0】委員の役割分担を次のように決定(敬省略)

委員長-花坂、副委員長-小野寺(青少年問題担当)、副委員長-阿部(映)(渉外担当)、財務委員-甲斐(青少年問題担当)、典礼委員-萩原、典礼委員-位田(行事担当)、広報委員-岩淵、行事委員-福島(営繕担当)、行事委員-井上、要理委員-石井、書記委員-小野

*財務については、第1日曜から第4日曜まで、それぞれ宮崎、鈴木、江尻、荒木の各氏が順番で、甲斐さんを補佐する。

上記を除いた教会役員として、壮年会長-上野、婦人会長-小山(利)、一粒会-小谷、小野(和)、第5地区宣教委員-七浦、町田

【1】財務報告(甲斐さん): 98年1月度決算報告を委員会了承。

特記事項:

- (1) 契約変更で引去りが遅れていた97年度分火災保険料(¥204,370)は、1月に一般会計支出として発生。
- (2) 信徒総会で提案して了承された、「愛の献金」から「一般会計」への30万円移行は2月度に行う。
- (3) 一般会計収入に特別献金合計135,000円あり。
- (4) 1月25日に、教区の会計監査を受け、無事終了した。(信徒会計まで、全部報告した)

【2】議題:

- (1) 献堂25周年の件: 本年2月24日に、中和田教会は献堂25周年を迎えるが、この件単独でお祝はせず、ご復活のお祝パーティーと併せてお祝する(4/12)。25周年の区切りとして、信徒名簿の改訂を行う。別途、調査等、急いで行う。(担当: /)
- (2) 自衛消防隊の見直し: 委員改選に伴い、自衛消防隊の担当見直しを行うが、内容は別途掲示する。
- (3) 冠婚葬祭委員会: 昨年11月に発足し、メンバーは清水、花坂、小野寺、平瀬、位田、阿部(映)の各氏。従来、明確でなかった運営、人手、etc.の課題について、検討をスタートする。壮年会、婦人会で出た、提言や課題などをすい上げて、冠婚葬祭委員会に入れていく。
- (4) 日曜ごみサ後の掃除: 掃除の準備、後片付けは婦人会にやって頂いているが、婦人会ではこれは地区毎の輪番制とする旨報告あり。尚、婦人会からの指摘に基づき、掃除のやり方を椅子をたたむ方式から、たたまないで前後に寄せて順次清掃する方式に改める。(たたむと、たたんだ椅子の下の清掃が出来ない。)
- (5) お聖堂に置いてある献金箱の口が小さいとの指摘あり。一改める。